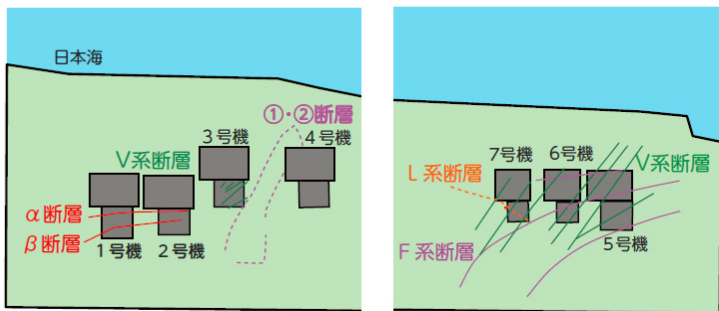


発電所敷地内の断層を評価しました

先日開催した「地域の皆さまへの説明会」でご説明させていただいた内容を3回にわたってお知らせします(今回2回目)。敷地内の断層を調査した結果、敷地の安田層は、約20万年前までに堆積した地層と確認しました。

1. 敷地内の地層の状況は？

- ◆発電所では、建設前から敷地内の地層の調査を行っており、地層が褶曲する際に形成された断層 **裏面に解説①** の分布が既に確認されています。



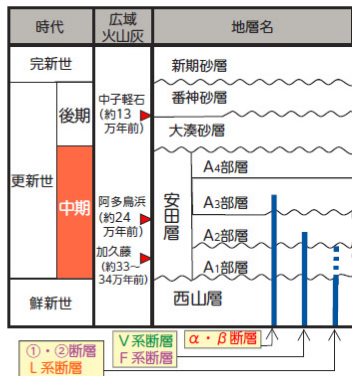
2. 断層の活動の痕跡は？

- ◆断層の活動性は、断層の上に堆積している地層のずれ具合で判断します。

裏面に解説②

- ◆敷地内の断層はいずれも安田層で止まっており、

安田層が堆積した時期以降は活動の痕跡はありません。



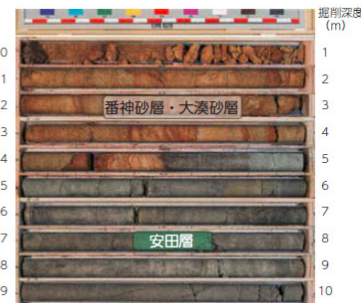
3. 安田層はいつ堆積したのか？

- ◆安田層が堆積した年代をより細かく調べるために、平成24年10月より発電所敷地内を含む3地点7箇所においてボーリング調査を行い、火山灰の分析を10試料、花粉や珪藻の化石の分析を約860試料行いました。 **裏面に解説③**

- ◆この結果、敷地内の**安田層の堆積時期は30数万年前から約20万年前**と評価しました。



ボーリング調査



試料の例

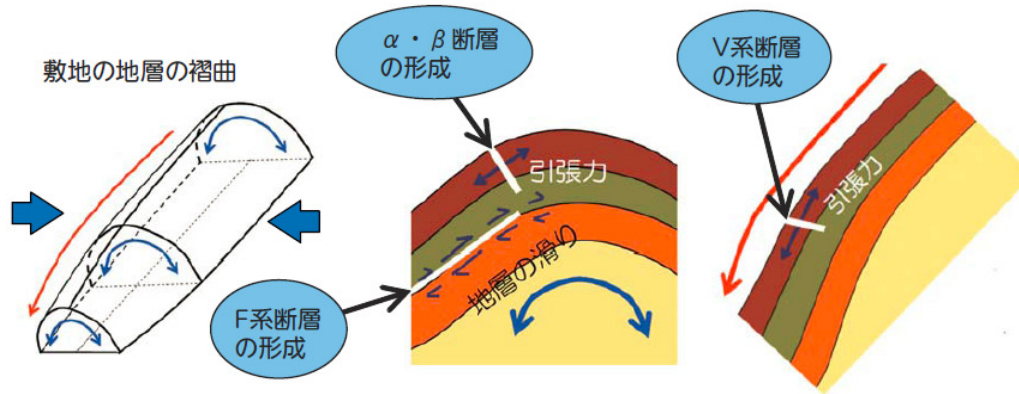
4. 当社の評価について

- ◆敷地の安田層は、約20万年前までに堆積した地層と確認しました。
- ◆敷地内の断層は、安田層中で止まっており、安田層堆積終了以降、すなわち約20万年前以降に動いておらず、近い将来に活動するものではないと考えられます。
- ◆新規制基準への適合性については、その他の調査結果と合わせて厳格に確認していきます。

発電所敷地内の断層と評価方法について解説します

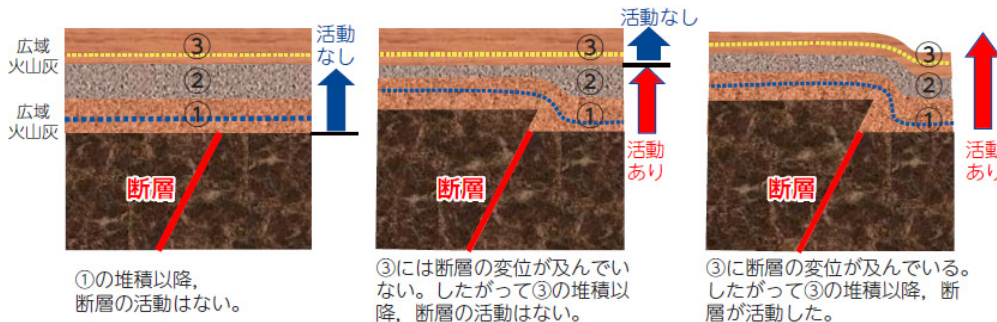
解説① 地層が褶曲する際に形成された断層って何ですか？

- ◆ 褶曲（しゅうきょく）とは、水平だった地層が地殻変動などにより長時間強い力を受けて曲がることです。火山を除く山の多くは、この褶曲により形成されたと考えられます。
- ◆ 敷地にみられる断層は、この曲がりに伴い表面が引っ張られて生じる細かいヒビのようなもので、地震を発生させる震源断層のように、地下深くまで延びるものではありません。



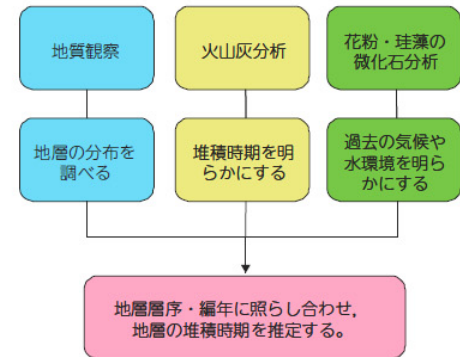
解説② 地層を調べるとどうして断層の活動時期が分かるの？

- ◆ 断層の活動性を判断するためには、断層の上に堆積している地層の変位・変形をしらべます。これにより活動していない時期の地層を判断し、それがいつ堆積したのかを調べることで断層の活動時期を評価します。



解説③ 火山灰や花粉や珪藻の化石で何が分かるの？

- ◆ 火山噴火による火山灰は、短時間で広い範囲に降り積もるので、離れた場所の地層から同じ火山灰があった場合、これらの地層は同じ時のものであることがわかります。
- ◆ 花粉や珪藻の化石から、堆積当時の気候（温暖／寒冷）や水環境（海水／淡水）を推定することができ、地球規模の気候の周期的な変動と比較して堆積時期を知ることができます。



敷地内の断層の活動時期を明らかにする。

今回の調査で見つかった火山灰
(阿多鳥浜：約24万年前)



【20万年前とは？】

諸説ありますが、現生人類は20万年前ごろにアフリカで誕生し、日本列島にはおよそ4～3万年前に到達したと考えられています。